

# 地理情報システム(GIS)による 集落営農支援手法(組織化支援編)

## 1 手法のねらい

集落住民により主体的に調査されたアンケート結果と統計データを反映した、地図による**情報の共有**と**将来への動機づけ**

## 2 集落営農支援手法の手順

地形図・航空写真の電子化

営農意向のアンケート調査  
農林統計データ

電子地図に結果を入力

集落役員会で検討

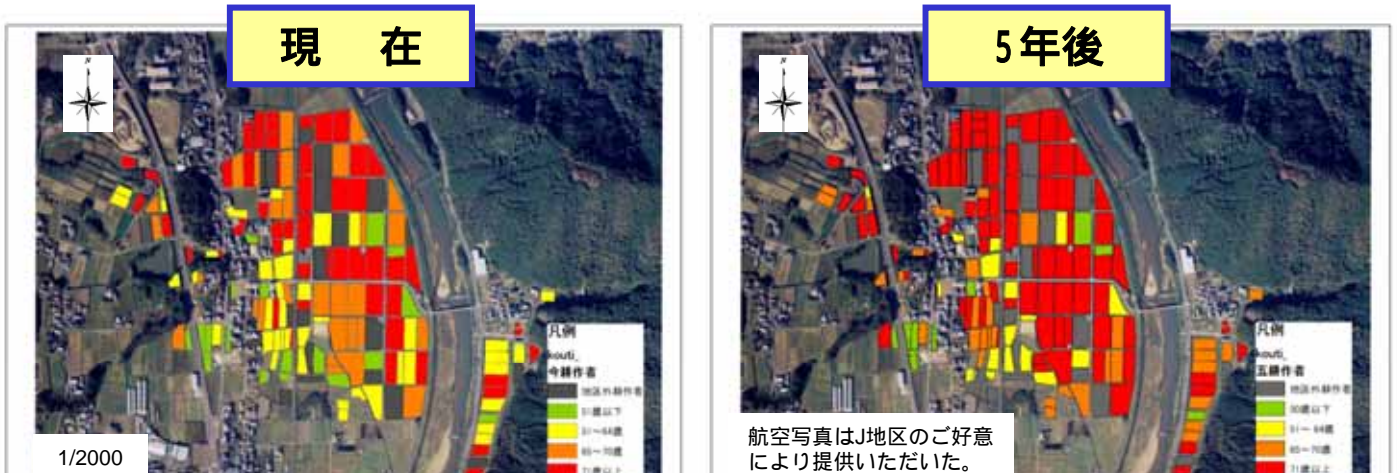
集落総会で提示

主な調査項目

- ・年齢(所有者、耕作者)
- ・後継者の有無
- ・機械の更新時とその意向
- ・将来の集落ビジョン
- ・作業の委託の意向

## 3 表示活用例 耕作者年齢別農地の将来予測

(資料 県内J地区)



70歳以上の耕作者によるほ場率 (30%→50%) **組織再編への合意形成**